

1. 社会・治安情勢

(1) リオデジャネイロ州全域でけん銃や小銃、手榴弾等を使用した殺人、強盗等の凶悪事件が引き続き多発している。

特に2016年以降、リオ州の財政破綻によって警察当局が治安対策のために必要な人的・物的対策を十分に整備することが困難となったこともあり、オリンピック・パラリンピックの終了後から急激に体感治安が悪化している。

(2) 依然として貧困層の少年らによる「アハスタオン（地引き網）」と呼ばれる集団強盗事件が市内中心部や海岸、幹線道路沿いで発生しており、治安当局もこれらの取締りを強化しているが、健全育成の方針を主眼とした少年法の影響により、逮捕した被疑少年の多くがすぐに釈放されてしまうなど、警察による取締りが治安改善に直結していない現状にある。

(3) また、リオデジャネイロ市内及びその周辺に約1,000か所存在するといわれるファベラ（スラム街）を中心に、敵対する麻薬密売組織間抗争が激化するとともに、UPP（リオ州軍警察平和構築部隊）をはじめとした治安当局と麻薬密売組織間における銃撃戦も頻発しており、流れ弾による一般市民の被害が後を絶たない。

さらに、幹線道路等においては、積荷を積載した車両を襲撃し、車両ごと強取る積荷強盗が多発しており、喫緊の課題となっている。

(4) これら課題に対処するため、2018年2月16日以降、大統領令による連邦政府主導の治安対策が試みられ、一定の成果は得られたものの、その根絶には至っていない。

(5) リオ州政府としても、2019年1月1日に就任した新州知事の主導の下、新設されたリオ州軍警察局及びリオ州文民警察局が中心となり、治安回復に取り組んではいるものの、州の財政難による新規採用枠の縮小や装備・資器材の故障、殉職・離職警察官の増加、組織的な汚職警察官の摘発等により警察力が低下する一方、凶悪犯罪が頻発するとともに、麻薬密売組織のファベラにおける既得権益を狙った『ミリシア』と呼ばれる自警団組織と麻薬密売組織間の抗争が激化しつつあり、予断を許さない状況にある。

(6) また、長引く不況を背景として、リオ市内におけるホームレスの数も数年前と比較して激増しており、麻薬中毒者が街中に集まったり、徘徊するなど、こうした状況が体感治安の悪化に拍車を掛けている一つの要因とも言える。

(7) さらに、新型コロナウイルスの影響により、今後、生活費等に窮する者らによる金銭目的の犯罪増加が懸念される。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) リオ州公安統計院（ISP）によれば、2019年中のリオ州内における殺人事件

発生件数は、3,995 件で、前年同期と比べて 955 件減少している。

- (2) また、強盗事件発生件数は、19 万 9,347 件で、前年同期と比べて 3 万 2,259 件と大幅に減少しているものの、強姦性交等 (+140 件) や携帯電話強盗 (+236 件) 等、身近な犯罪が対前年同期比プラスであるとともに、ここ数年減少傾向にあった窃盗事件発生件数が増加傾向 (対前年同期比+1 万 651 件) にあることから、注意を要する。
- (3) 第 4 四半期中、リオ市セントロ地区やコパカバーナ海岸などの観光名所において、邦人観光客が被害者となる強窃盗事件が発生しており、引き続き、観光名所等における各種犯罪に対する警戒が必要である。
- (4) このほか、麻薬密売組織間抗争を背景として、ファベラ周辺の治安が悪化しており、これまで比較的安全と目されてきたリオ市南部地区も例外ではないことから、細心の注意が必要である。

3. リオ州犯罪発生状況 2020 年 1 月 (対前年同月比増減数)

	リオ州	リオ大都市圏
殺人	349 (-37)	221 (-57)
強姦性交等	398 (-61)	268 (-59)
商業施設強盗	414 (-17)	346 (-23)
住居侵入強盗	74 (-42)	51 (-40)
車両強盗	3,246 (-539)	3,144 (-527)
通行人強盗	6,205 (-1,249)	5,859 (-1,135)
交通機関内強盗	1,191 (-137)	1,168 (-133)
携帯電話強盗	2,191 (-223)	2,055 (-161)
強盗総数	15,881 (-2,874)	15,057 (-2,645)
窃盗総数	14,644 (+710)	12,082 (+777)
取扱件数	65,718 (-3,891)	52,915 (-3,545)
※警察介入の際の致死事件	152 (-7)	134 (-12)

4. リオ州犯罪発生状況 2019 年 (1 月~12 月) (対前年同期比増減数)

	リオ州	リオ大都市圏
殺人	3,995 (-955)	2,923 (-654)
強姦性交等	5,450 (+140)	3,909 (+68)
商業施設強盗	5,000 (-1,437)	4,310 (-1,325)
住居侵入強盗	1,125 (-124)	874 (-69)
車両強盗	39,749 (-12,348)	38,589 (-11,911)
通行人強盗	78,303 (-10,119)	74,126 (-9,217)
交通機関内強盗	15,379 (-281)	15,157 (-232)
携帯電話強盗	26,774 (+236)	25,020 (+214)

強盗総数	199,347 (-32,259)	189,529 (-30,491)
窃盗総数	154,521 (+10,651)	128,239 (+9,951)
取扱件数	781,522 (+11,055)	635,218 (+608)
※警察介入の際の致死事件	1,810 (+276)	1,643 (+262)

5. ZONA SUL 犯罪発生状況 2020年1月 (対前年同月比増減数)

【フラメンゴ・ボタフォゴ地区】

殺人	2 (+2)
商業施設強盗	22 (+1)
住居侵入強盗	0 (±0)
車両強盗	37 (+1)
通行人強盗	129 (-51)
交通機関内強盗	15 (+2)
携帯電話強盗	49 (-9)
強盗総数	304 (-69)
窃盗総数	574 (+161)

【コパカバーナ地区】

殺人	0 (-3)
商業施設強盗	7 (-3)
住居侵入強盗	0 (-2)
車両強盗	1 (-3)
通行人強盗	180 (+28)
交通機関内強盗	3 (-7)
携帯電話強盗	78 (+4)
強盗総数	328 (-2)
窃盗総数	1,507 (+380)

【イパネマ・レブロン地区】

殺人	1 (-1)
商業施設強盗	6 (+1)
住居侵入強盗	1 (-2)
車両強盗	9 (-2)
通行人強盗	75 (-51)
交通機関内強盗	5 (-2)
携帯電話強盗	28 (-23)
強盗総数	143 (-102)
窃盗総数	676 (+25)

6. 一般事件等（邦人の安全に係るものを抜粋）

（1）店舗強盗（イパネマ地区）

1月23日（木）午後7時10分頃、リオ市南部イパネマ地区ビスコンデ・デ・ピラジャ通り（Rua Visconde de Piraja）沿いの日用品雑貨店『CASA e Video』に対し、けん銃武装した男1名が襲撃、付近警ら中の警察官が同男の身柄を確保し、けん銃（回転式）1丁、携帯電話機30台を押収した。

（2）窃盗（置き引き）

邦人観光客らは、2月5日（水）正午頃、リオ市イパネマ地区イパネマ海岸において、友人らと共に海水浴をしていたところ、1名の物売りが接近、同人に気をとられている隙に、周囲に置いていた現金、スマートフォン等在中のバッグ等を窃取された。

（3）窃盗（ひったくり）

邦人観光客は、2月20日（木）午前9時頃、リオ市セントロ地区レジェンチ・フェイジョ通りにおいて、スマートフォン（iPhone）を操作しながら『Uber』を待っていたところ、自転車に乗車した男性に同機を窃取された。

（4）窃盗（すり）

邦人観光客は、2月23日（日）午後10時頃、リオ市セントロ地区サンバ会場（Sambodromo）内のトイレにおいて、自身のポケット内に入れていた現金、クレジットカード等在中の財布を窃取された。

（5）窃盗（すり）

邦人観光客は、2月24日（月）午後7時頃、リオ市セントロ地区『ラパ水道橋（Arcos da Lapa）』において、カーニバルを観覧していたところ、何者かに抱きつかれ、所携の携帯電話機1台を窃取された。

（6）窃盗（ひったくり）

邦人観光客は、2月24日（月）午後11時45分頃、リオ市セント・クリスト地区サンバ会場周辺路上（Rua Marques de Sapucaí）において、飲み物を買おうとしたところ、所携の携帯電話機1台を窃取された。

（7）窃盗（置き引き）

邦人観光客は、2月25日（火）正午頃、リオ市コパカバーナ地区コパカバーナ海岸において海水浴中、所携の現金やクレジットカード、携帯電話機等を窃取された。

(8) 強盗致傷

邦人観光客（夫婦）は、2月25日（火）午後3時頃、リオ市セントロ地区『セラロン階段（Escadaria de Selaron）』周辺路上において、いきなり地面に押し倒され、殴打された上、所携の現金、旅券、携帯電話機、カード等在中のリュックサック等を強取された。

(9) 強盗致傷

邦人観光客は、2月25日（火）午後8時頃、リオ市セントロ地区『大聖堂（Catedral Metropolitana de Sao Sebastiao）』周辺路上において、いきなり少年らに囲まれ、顔面を殴打された上、所携の携帯電話機1台を強取された。

(10) 持凶器強盗

邦人観光客らは、2月28日（金）午後7時頃、リオ市セントロ地区『大聖堂（Catedral Metropolitana de Sao Sebastiao）』周辺路上において、いきなり刃物を所持した複数名の男らに囲まれ、所携のカメラや腕時計、サングラス等を強取された。

(11) 持凶器強盗

邦人観光客は、3月1日（日）午後3時頃、リオ市ジョアキン・ケイロス通り（コンプレクソ・ド・アレマオン）において、けん銃を所持した四人組の若者に囲まれ、所携のカメラ等を強取された。

(12) 持凶器強盗

邦人観光客は、3月3日（火）午前7時頃、リオ市セントロ地区所在の『セラロン階段（Escadaria de Selaron）』を上っていたところ、いきなり刃物を持った二人組の若い男らが現れ、所携のカメラ等を強取された。

(13) 窃盗（置き引き）

邦人観光客は、3月4日（水）午前8時30分頃、リオ市コパカバーナ地区コパカバーナ海岸遊歩道において、配偶者と共に写真撮影をしていたところ、何者かが同入らの脇を通り過ぎ、周囲に置いていた旅券等在中のリュックサックを窃取された。

(14) 強盗

邦人観光客は、3月5日（木）午後4時頃、リオ市コパカバーナ地区コパカバーナ海岸において、海水浴をしていたところ、いきなり三人組の少年らが眼前に現れ、平手で頭部を叩かれた上、手にしていた携帯電話機1台を窃取された。

(15) 窃盗（ひったくり）

邦人観光客は、3月18日（水）午後7時頃、リオ市コパカバーナ地区コパカバーナ海岸遊歩道を散策していたところ、所携の携帯電話機1台を窃取された。

6. テロ・爆弾事件発生状況

事件の発生は認知していない。

7. 誘拐・恐喝事件発生状況

(1) 誘拐事件

邦人被害は認知していない。

(2) 恐喝事件

邦人被害は認知していない。